



～服の循環を知ろう～ サーキュラーファッションバスツアー



自分が手放した服の行く末を御存知ですか？ファストファッションの台頭により、低価格で流行の洋服が気軽に手に入る一方、ファッション業界は、その製造や流通、廃棄と各過程において、環境負荷が非常に大きい産業と言われています。

日本は衣料品の多くを輸入に依存しており、服の製造過程に触れる機会がほとんどないため、問題点が見えにくく、服の環境問題はまだまだ広く知られていないのが現状です。自分が手放した服の行く末を学ぶリサイクル工場見学や、手持ちの服をもっと長く大切に衣着頂く提案の一つとしての服の染め直し体験等を通じて、服の循環について学び、本当のおしゃれや服との付き合い方について考えてみませんか。

【開催日時】令和7年7月12日(土) 9時～16時30分(予定) 【受付開始】8時45分～

【集合場所】高松市中央公園北口付近バス乗り場(市の大型バスが停車しております)

【会場】アジサーキュラーパーク(庵治町丸山6391-19)、四国リサイクルプラザ・ウエス工房(三木町井戸1721)

【参加者】申込抽選30名(小学生以上、小学生は保護者同伴、大人のみ可)

【参加費】おひとり様2,800円(昼食代及び服の染め直し体験料として)

【イベント内容】

●服のリサイクル工場見学(講師:四国リサイクルプラザ・ウエス工房 営業部長 山田昭仁氏、大量廃棄された服の現状を見学します)

●サステナブルファッション講座(ファシリテーター:中商事株式会社 代表取締役社長 中 貴史氏)

●香川大学学生ESDプロジェクトSteeepさんのサーキュラーファッションの取組、活動紹介

●服の染め直し体験(講師:「アトスペースにしくみ」ニシクミ氏)

●アジサーキュラーパークの店内見学・ショッピングなど

※解散予定時刻は16時30分頃を予定しております。

【申込方法】(①～④のいずれかの方法で事前申込が必要です)

① 申込フォーム:右記の二次元コードからお申し込みください。

② E-mail:高松市環境総務課宛 kankyou_s@city.takamatsu.lg.jp

③ FAX:高松市環境総務課宛 087(839)2390

④ お電話:087(839)2388 受付時間:祝日除く(月)～(金)8時半～17時

※☎やFAXでの御申込の際は、希望講座名、参加者氏名(グループで御申込の場合は全員)、住所、年齢(小学生は学年も)、電話番号

(日中連絡のつく連絡先、携帯番号)、☎アドレス(詳細連絡用)、別紙「ベンガラ染め色見本」及び「特製ランチメニュー表」を御参照の上、申込人数分の御希望の染料の色とベグル番号を御記入ください。(申込フォームの場合はQ3の欄へ)

【申込締切】令和7年7月1日(火) 必着 ⇨参加決定連絡は翌2日(水) 予定



★申込フォーム



環境に優しい天然染料を使ったベンガラ染め



講師紹介～wonderful teachers～



中商事株式会社
代表取締役社長 中貴史氏



AJICIRCULARPARK Website

大正時代の創業時から受け継がれた高い技術力と丹念なモノづくりを核に、「ワクワクで持続可能な地域の未来を創る」を理念に、衣服の製造・卸・小売販売を行う繊維商社の3代目社長。サーキュラーエコノミーに早く注目し、「つどう、つながる、めぐる。」をコンセプトに地域が持つ多種多様な資源の循環、交流の拠点として、アジサーキュラーパークの立上げを始め、常に時代を先読みし、その洞察力和類稀なる行動力でその理想を形にする熱きリーダー。



アトスペースにしくみ
ニシクミ氏



Instagram

大学では油絵を専攻、美術教育課程を修了。学生時代より中学・高校の美術講師を経験。2014年ごろから陶芸の勉強を始め、作品を制作、関東を中心に販売している。「少しでも多くの人にものを作る楽しさを知ってもらいたい」とそんな志のもと、表現することの楽しさを伝えるため、ワークショップ、外部講師などの活動も精力的に行っている。2020年より三木町に陶芸体験やベンガラ染め体験ができる「アトスペースにしくみ」をOPEN。本来は捨てられるはずの庵治石の石粉を活用した『せとうち讃岐・大地のうつわLociroki～Ajiシリーズ～』で、令和6年度かがわ県産品コンクール一般部門で知事賞(最優秀賞)受賞。



Instagram

香川大学学生ESDプロジェクト Steeep
地球温暖化や環境問題、食品ロス問題について取り組んでいる学生プロジェクトチームで、全世代の方を対象に、様々なイベントを開催。その取組の一環で、昨年、衣料品の大量廃棄問題に問題意識を持ってもらおうと服の交換会を企画。本市の連携環境活動団体としても、出前講座を担当するなど、様々な場面に活躍の場を広げている。

